

自分らしく生きる!!

～どんなことが得意?どんな性格?～

「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」という固定観念にとられることなく、「自分らしく」生き生きと暮らすためにはどうしたらいいでしょうか。



「自分」について考えてみよう。

サッカーが得意
バスケットボールが得意
ダンスが得意

もの静か
決断が早い
冗談を言う
協力的

人と
話すことが
好き

キャンプなど
アウトドアが
好き

小さい子と
遊ぶことが好き

絵を描くことが好き
本を読むことが好き
山に登ることが好き

服の
コーディネート
考えることが好き

動物が好き
植物を
育てることが好き

数学が好き
歴史に興味がある
科学が好き



料理が好き
楽器の演奏が好き
歌うことが好き

努力家
優しいタイプ
相手への
思いやりがある

考えてみよう!!



あなたの好きなことや得意なことは何ですか?また、どのような性格ですか?

.....

.....

.....

考えてみよう!!



上に書いたことを、これからの自分にどのように生かしていけるとおもいますか?
(放課後の活動で、家庭生活上で、将来の職業で)

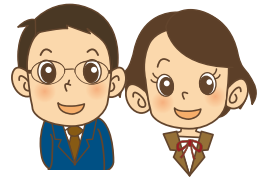
.....

.....

.....



自分らしく生きる!!



～これって男の職業？女の職業？～

職業には「男の職業」「女の職業」があると思ったことはありますか？

次の職業についてあなたの考えと同じものに○をつけてみましょう。また、どうしてそれを選んだのか理由を書いてみましょう。

職業	男性	女性	どちらでも	理由
医師				
看護師				
教師				
保育士				
バス運転手				
弁護士				
大工				
デパート店員				
フライトアテンダント				
パイロット				
服飾デザイナー				
自動車整備士				

考えてみよう!!



みなさんは職業を選択するときに、どんなことを大切にしたらいいと思いますか？
話し合ってみましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

自分らしく生きる!!



～性別よりも個性で!～

社会には、たくさんの職業があります。以前は、女性向きや男性向きと考えられている職業がありました。しかし、現在では、男性も女性も性別に関係なく、さまざまな職業に就いています。あなたは、将来どんな職業に就きたいですか？



浜松医療センター 看護師 いいお もりやす 飯尾 守康さん

今やるべきことに対して一生懸命に取り組んでください。
頑張った分だけ喜びに変わります。

私自身が怪我をして長い間入院した時に、病棟に実習に来ていた看護学校の教員の方から看護師にも男性の方がいるということを知りました。入院中、看護師さんからの何気ない一言や笑顔に元気付けられ、勇気付けられていたこともあり、看護師の仕事に就きたいと思いました。当時、私の周りでは男性看護師という職業はあまり知られていなかったため、友達からは「男が看護師？」という反応をされることが多かったです。しかし、家族のみんなは男性の私が看護師を目指すことをすぐに受け入れてくれ、応援してくれました。看護師として働くようになり、最初は、女性が多い職場で働くということで気持ち的にも構えていたところがありましたが、周りのスタッフや先輩方が男性だから女性だからという区別なく接して下さったことでスムーズに職場に馴染むことができました。

看護師の仕事は大変ですが、患者さんから「ありがとう」という言葉をいただいたり、患者さんが元気になっていく姿を見たりすると、この仕事に就いて良かったなと感じます。これまで以上にスタッフ一同、一丸となって患者さんの期待に応えていきたいです。



天竜消防署 消防士 ふじた ちえ 藤田 千恵さん

今の自分を大切にしてください。たくさん笑って、泣いて、悩んでください。
きっといつかあなたの夢へつながるはずです。

消防士の友達から、「静岡県で現場に出る女性消防士が採用されたよ。あなたのような子が向いていると思う。」と言われたことがきっかけです。自分が何になりたいのかしっかり考えずに高校-大学と卒業し、就職しました。しかし、このままでいいのかなと思い、転職を考えている時だったので『消防士=人の役に立つ職業…これだ!』と思いました。当時、「今の仕事を辞めて消防士になる。」と家族に言うと、危険が伴う職業ですし、消防士に女性になるということが理解できなかったみたいです。今では、「自分で選んだ道だから、やれることを頑張らなさい。」と、とても応援してくれています。消防職員になり、救急隊員の資格をとりました。しかし、救急救命士にしか処置できないケースが続いたことから、救急救命士の資格を目指し、30歳で念願の資格を取得しました。

私たちの仕事は、人の生命に関わる仕事です。時に悲惨な現場や辛い現場に立ち会いますが、搬送した方の症状が回復したり、元気になったりしたと聞くと、不思議とまた頑張ろうと思えるのです。また、同じ意識を持った仲間とともに、日々勤務できることも幸せに思っています。